

審議会等の会議の記録

会 議 の 名 称	第4回伊勢崎市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和7年3月19日（水）午後2時00分～午後4時20分
開 催 場 所	宮郷公民館 研修室1・2
出 席 者 氏 名	(社会教育委員) 栗原議長、相川委員、村田委員、菊池委員、鈴木委員、 常木委員、赤石委員、後藤委員、清水委員、永田委員、 松島委員、丸橋委員 (行政関係者) 高橋生涯学習課長、神保課長補佐、川田課長補佐、黛課長補佐、 糸井主査、石井主幹（赤堀公民館職員）、栗原主幹（宮郷公民館職員）、 小林主査（境公民館職員）、石原主任（あずま公民館職員）、 横関主任（赤堀公民館職員）
傍 聴 人 数	0人（公開）
会 議 の 議 題	1. 開会 2. あいさつ 3. 報告・協議 （1）子ども未来会議を参観して （2）社会教育関係職員等研修会研究報告 （3）今年度の「議論のまとめ」について 4. 連絡事項 「人権啓発カレンダー」について 「社教連会報」について
会 議 資 料 の 内 容	資料1 社会教育関係職員等研修会研究報告について 資料2 「議論のまとめ」
会 議 に お け る 議 事 の 経 過 及 び 発 言 の 要 旨	1. 開会 2. あいさつ 伊勢崎市生涯学習課 課長 高橋 浩一 伊勢崎市社会教育委員会議 議長 栗原 ウメ子 3. 報告・協議 （1）子ども未来会議を参観して ○参観した社会教育委員が未来会議の様子を報告 ・第一中学校区子ども未来会議を参観して ・第二中学校区子ども未来会議を参観して ・第四中学校区子ども未来会議を参観して ・赤堀中学校区子ども未来会議を参観して ・あずま中学校区子ども未来会議を参観して

	・ 境西中学校区子ども未来会議を参観して (2) 社会教育関係職員等研修会研究報告 (A班、B班発表) 【事務局】 社会教育関係職員等研修会について説明 ○A班発表「公民館施設全体の利用促進～みんなで公民館をきれいに～」 【委 員】 ・ 公民館職員に館内をきれいに清掃してもらい、環境を整えてもらえてありがたいと思う。公民館サークルの人たちにも使用した場所をきれいに掃除したり、公民館の周りも当番できれいにしていただいたりする方法もある。自分たちの使う場所をみんなできれいに保つことも大事である。 ・ 地域住民が使う公民館はいつも環境を整えてほしいと思う。環境整備は毎日行うべきものである。 ・ アンケートを全館で実施したのはいいが、公民館によって、回収したアンケート数の差が大きい。回収の仕方も工夫できるとよいと思う。 ・ 住民のニーズを把握するためにアンケートをとるのはいいこと。意見を集約するのであれば、利用者はもちろん、あまり利用していない人がどんな風にすれば利用したいと思うかを聞く必要がある。 【発表者】 ・ 今後も利用促進のために何が必要か、意見を伺いながら公民館での取組に反映したい。アンケート方法についても館によってばらつきがないよう実施していきたい。 ○B班発表「高めよう！公民館職員の防災意識」 【委 員】 ・ 公民館において、災害時の初動について職員が共通理解できたのはよかった。すべての公民館に備蓄品があるのか。 【発表者】 ・ 公民館によって、近くに防災倉庫があるところと少し離れているところがある。場所によって一次避難の場所になっているところもあれば、館によって、果たす役割が変わってくる。今回は、場所によって違いがある中で、それぞれの職員が、どんな動きが必要なのかを考える研修であった。災害が多く発生している昨今、本市も例外ではないので、チェックリストを作成し、訓練に合わせて研修できたことはよかった。 (3) 「議論のまとめ」について 【事務局】 今年度話し合ってきたことについて振り返り、資料について説明 「議論のまとめ」 ○はじめに 1. 地域において子供の豊かな体験が必要不可欠 2. 伊勢崎市の取組 3. 実態の把握 (アンケート実施) 4. アンケートから見えてきたこと 5. まとめ 【委 員】 ・ 話し合ってきたことが形になってよかった。取組中の「中学生の社会参画」について、ボランティア
--	--

	で活躍する中学生に「ボランティア証明書」を発行し、頑張ったことが可視化できるようになったことは評価できる。学校で行っている「キャリアパスポート」にも関連付けられるといいのではないか。ボーイスカウトなどのプロセスをボランティア活動に活かせるといいと思った。 【委員】・農業に従事する人が少なくなっていく中、農業共同体というものもなくなった。子供が地域の中で様々なことに携わる機会がなくなっている。地域性や季節感を感じられる取組ができるといい。 【委員】・どうすれば地域行事や公民館事業にたくさんの子供たちが集まるのか、周知の仕方については研究が必要。学校にも協力してもらい、子供たちにも家庭にも何が行われ、どんな体験ができるのか知ってもらう必要がある。 【委員】・会議を通して、公民館が子供たちのために、たくさん取組をしていることが分かった。周知の仕方については課題だと思う。子供たちの目につくところで、やっている取組を取り上げてほしい。 【委員】・継続した事業実施が大事。本市においては社会教育施設で、子供を対象とした事業を多数行っている。ただ、単発の事業が多いかと思う。子供会に入って活動することが少なくなり、継続した活動ができなくなっている現状がある。継続がどうできるかを考えていくとよりよい取組になるのではないか。その中で、放課後子供教室の取組は継続して地域の方が子供たちに関わることができ、とてもいい取組だと思う。子供の変容も見られる。本市ではどのくらい放課後子供教室があるのか。 【事務局】 中学校区に一つの割合で、12教室で実施している。宮郷地区や殖蓮地区は公民館で実施しており、宮郷小と宮郷第二小、殖蓮小と殖蓮第二小の児童がそれぞれ参加しており、教室は12教室であるが、14の小学校の児童が参加できる形となっている。 【委員】・地域が継続して子供と関われる取組が今後も増えていくといいと思う。 ※議長から「議論のまとめ」を教育長に提出することが提案され、承認される。 4. 連絡事項 ○人権啓発カレンダーについて ○社教連会報について 【事務局】今年度の会議において検討していただいたことが「議論のまとめ」として形になったことはありがたく思っている。今年度で任期満了となるが、今後も本市の社会教育行政において、ご理解ご協力をいただくとともにご指導いただければありがたい。 5. 閉会
--	---

